










# 第 58 期 (平成 21年 2 月期) 中間決算概況

モリシタ株式会社

## < 目次 >

 中間業績のコメント	3
 中間業績の概要	4
 中間売上高の推移	5
 第5 8期中間売上高構成比	6
 経常利益・中間純利益の推移	7
 中間損益計算書比較	8
 中間貸借対照表Ⅰ	9
 中間貸借対照表Ⅱ	10
 中間キャッシュフロー表	11
 第5 8期業績予想	12

**本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果になる可能性がある事を、あらかじめ御承知おきください。**

**※ 金額は、表示単位未満切捨てで表示しております。**

## < 中間業績のコメント >

### 1 経営の成績

#### (1) 営業成績

商品販売面では、今期も引き続き幅広く顧客に人気があり安定商品であるディズニー・キャラクター関連商品を重点販売商品として積極的に拡販を図ってまいりました。またディズニー以外のキャラクター商品の販売も堅調に推移しております。また環境にやさしい“ソバ枕”等も根強い人気があり、その販売もまた堅調に推移しておりますが、低反発ウレタン枕や低反発ウレタンマットレス等の“健康機能商品”は、一時のブームが去り、その反動で、未だに買い替え需要が低調であった事や、恒常的な競争激化のため販売価格の低下等の影響が大きく、全体的には厳しい状況が続きました。

不動産賃貸部門におきましては、保有のテナントビルについては空室も無くほぼ満室状態が続いており、自社での直接管理業務と相まってビル管理収益は順調に拡大しております。

#### (2) 製造コストの低減

従来の原材料や副資材を見直すと同時に、縫製加工の海外委託を促進し、製造コストの低減を図り、商品競争力の強化に取り組んでまいりました。

## ＜ 第 58 期中間業績の概要 ＞

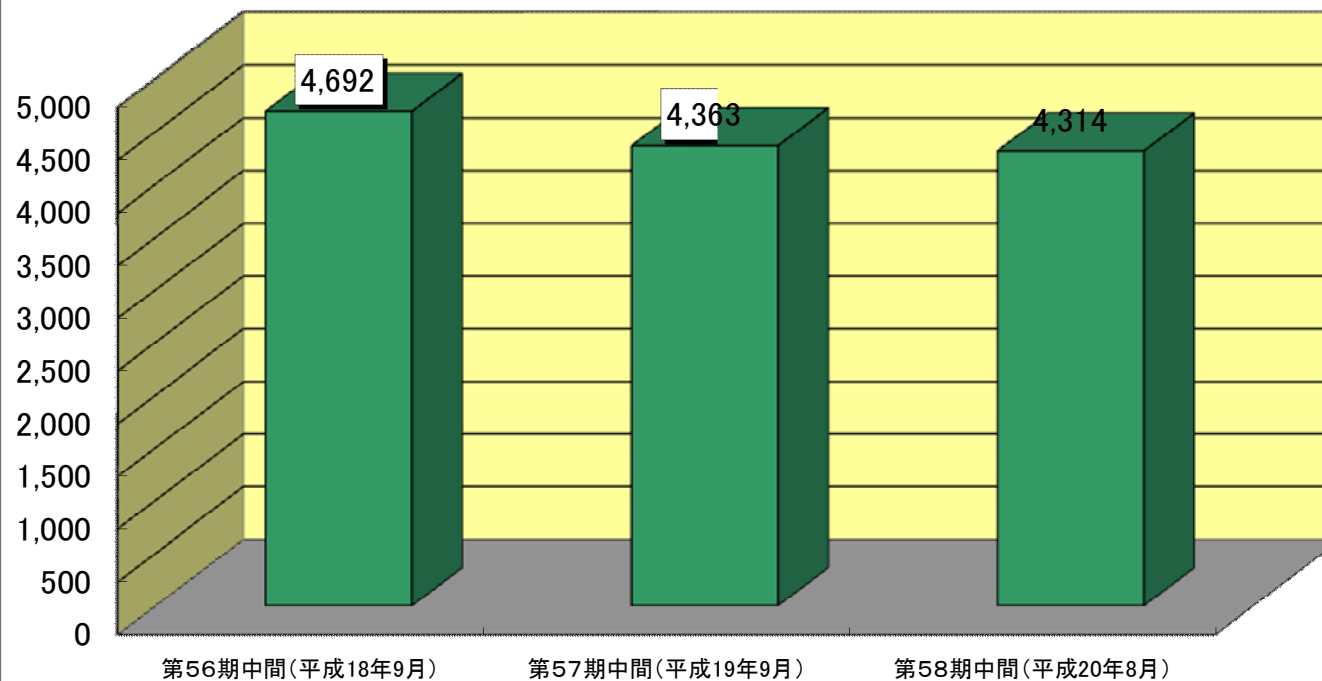
(単位は百万円)

	第 57 期中間	第 58 期中間		
	実績	実績	増減	前年比 (%)
売 上 高	4,363	4,314	△48	△1.1
営 業 利 益	56	156	99	176.1
経 常 利 益	△937	1,023	—	—
中 間 純 利 益	△1,246	1,015	—	—

(注) 経常利益および純利益の増加は、デリバティブ評価益の発生によります。

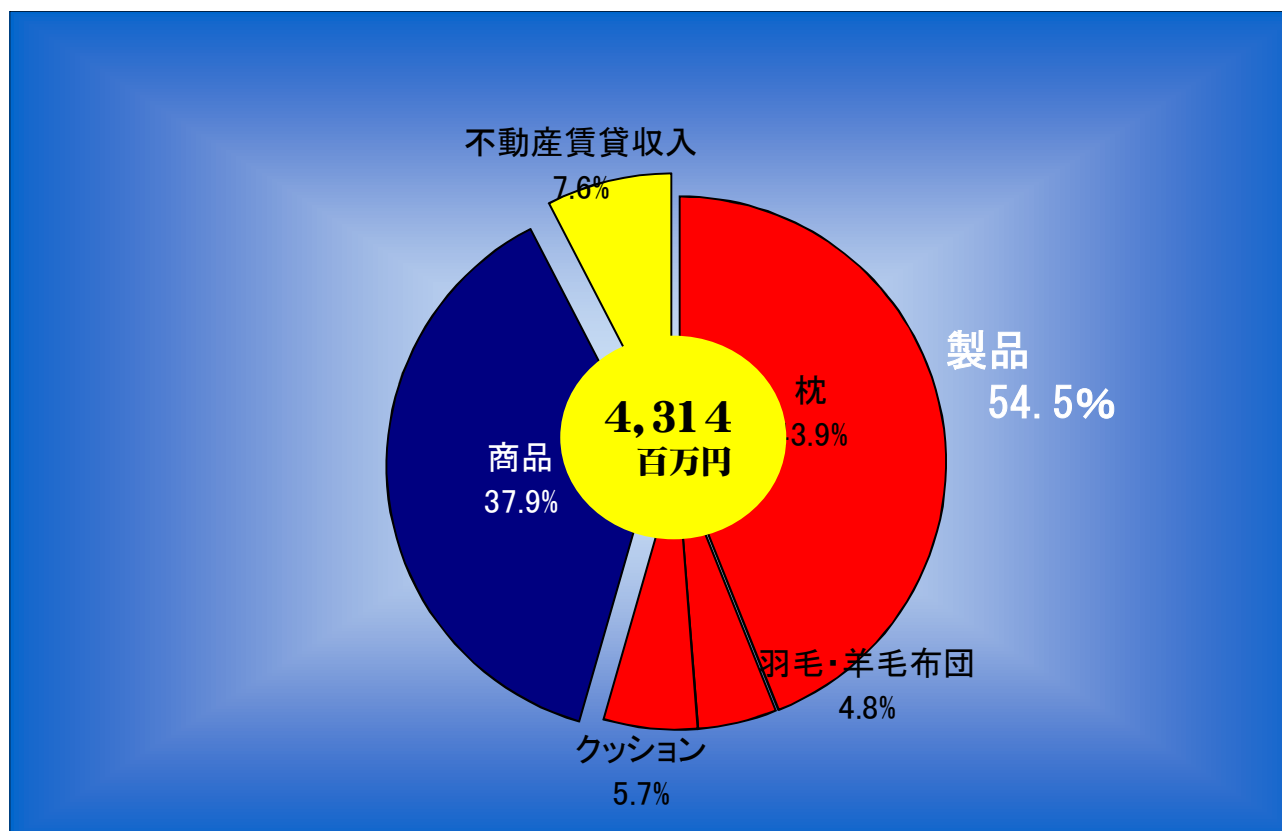
## 中間売上高の推移

(単位：百万円)

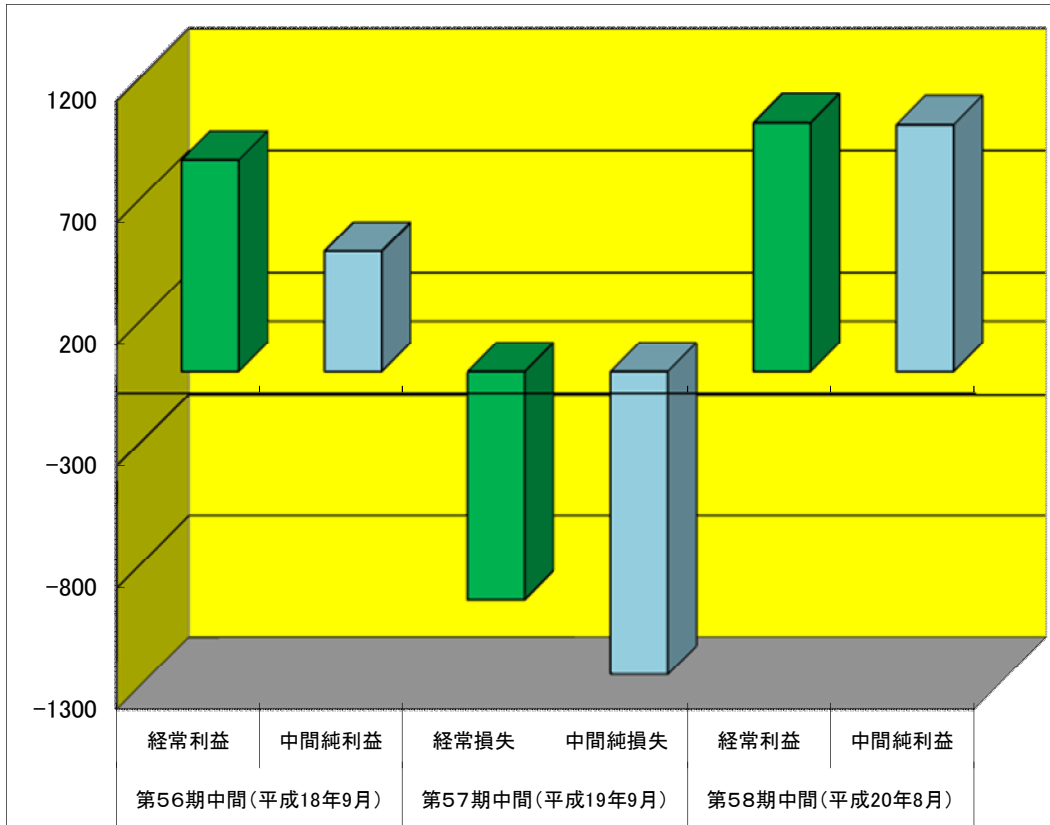


## 2 売上高について

### 売上構成比(平成 21 年 8 月期・中間)



## < 経常利益・中間純利益の推移 >



(単位:百万円)

第56期 中間	経常利益	867
	中間純利益	492
第57期 中間	経常損失	△937
	中間純損失	△1,246
第58期 中間	経常利益	1,023
	中間純利益	1,015

## ＜ 中間損益計算書比較 ＞

(単位：百万円)

	第 57 期中間		第 58 期中間	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
I. 売上高	4,363	100.0	4,314	100.0
II. 売上原価	3,402	78.0	3,237	75.0
売上総利益	960	22.0	1,077	25.0
III. 販売費及び一般管理費	903	20.7	920	21.0
営業利益	56	1.3	156	4.0
受取利息・受取配当	19		27	
為替差益	154		—	
デリバティブ評価益	—		889	
雑収入	9		7	
IV. 営業外収益	183	4.2	924	22.5
支払利息	38		41	
為替差損	—		3	
デリバティブ評価損失	1,127		—	
外為手数料	5		—	
雑損失	7		12	
V. 営業外費用	1,178	27.0	58	1.6
経常利益	△937	△21.5	1,023	24.9
VI. 特別利益	—		—	
VII. 特別損失	307		1	
法人税・住民税及び事業税	—		6	
純利益	△1,246	△28.6	1,015	24.8

## ＜ 中間貸借対照表比較 I ＞

(単位：百万円)

	第 57 期中間		第 58 期中間	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
<b>I. 流動資産</b>	<b>4,408</b>	<b>26.2</b>	<b>4,311</b>	<b>25.4</b>
現金・預金	236		218	
受取手形・売掛金	1,893		1,727	
棚卸資産	2,049		2,155	
その他流動資産	229		210	
<b>II. 固定資産</b>	<b>12,426</b>	<b>73.8</b>	<b>12,683</b>	<b>74.6</b>
有形固定資産	9,513	56.5	9,736	57.3
無形固定資産	5	0.0	5	0.0
投資その他の資産	2,907	17.3	2,941	17.3
<b>資産合計</b>	<b>16,835</b>	<b>100.0</b>	<b>16,995</b>	<b>100.0</b>

## ＜ 中間貸借対照表比較 II ＞

(単位：千円)

	第57期中間		第58期中間	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
<b>I. 流動負債</b>	<b>7,196</b>	<b>42.7</b>	<b>8,829</b>	<b>52.0</b>
支払手形・買掛金	655		618	
短期借入金	2,280		2,900	
その他流動負債	4,260		5,310	
<b>II. 固定負債</b>	<b>2,962</b>	<b>17.6</b>	<b>2,610</b>	<b>15.4</b>
退職給与引当金	101		90	
長期借入金	2,000		1,557	
その他固定負債	860		962	
<b>負債合計</b>	<b>10,158</b>	<b>60.3</b>	<b>11,440</b>	<b>67.3</b>
(純資産の部)				
<b>I. 株式資本</b>	<b>6,257</b>	<b>37.2</b>	<b>5,306</b>	<b>31.2</b>
<b>II. 評価・換算差額等</b>	<b>419</b>	<b>2.5</b>	<b>248</b>	<b>1.5</b>
<b>純資産合計</b>	<b>6,676</b>	<b>39.7</b>	<b>5,554</b>	<b>32.7</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,835</b>	<b>100.0</b>	<b>16,995</b>	<b>100.0</b>

## ＜ 中間キャッシュフロー表 ＞

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	残金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
<b>20年8月中間期</b>	<b>138</b>	<b>△418</b>	<b>313</b>	<b>207</b>
<b>19年9月中間期</b>	<b>870</b>	<b>△659</b>	<b>△299</b>	<b>221</b>

当中間期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ24百万円（13.4%）増加し207百万円となりました。  
当中間期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

### ＜営業活動によるキャッシュフロー＞

当中間期において営業活動の結果得られた資金は138百万円（前期比731百万円の減少）となりました。  
主な要因は、税引前中間当期純利益の計上1,022百万円、減価償却費141百万円に対してデリバティブ評価益の889百万円、引当金の減少173百万円及び棚卸資産の増加72百万円等があったことによるものであります。

### ＜投資活動によるキャッシュフロー＞

当中間期において投資活動の結果使用した資金は、418百万円（前期比240百万円の減少）となりました。  
主な要因は、有形固定資産の取得による支出325百万円によるものであります。

### ＜財務活動によるキャッシュフロー＞

当中間期において財務活動の結果得られた資金は、313百万円（前期比299百万円の支出）となりました。  
主な要因は、短期借入金315百万円増加等によるものであります。

## ＜ 第58期業績予想 ＞

(単位は百万円)

	第57期実績		第58期予想	
	上期	年間	上期	年間
売上高 前年比 (%)	4,363 △7.0	7,781	4,314 △1.1	9,000
経常利益 対売上比 (%)	△937 △21.5	△2,571 △33.1	1,023 23.7	600 6.7
当期純利益 対売上比 (%)	△1,245 △28.5	△3,132 △40.3	1,015 23.5	310 3.4